

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	905	△8.0	86	△3.4	106	15.6	99	11.1
24年9月期第1四半期	985	△10.1	89	255.5	91	265.4	89	180.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	1,743.34	1,743.34
24年9月期第1四半期	1,570.26	1,570.26

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,556	1,606	62.7
24年9月期	2,433	1,475	60.5

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 1,603百万円 24年9月期 1,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—				
25年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	△12.1	90	△43.9	110	△36.7	95	△43.3	1,663.17
	~1,750	~△9.5	~105	~△34.5	~125	~△28.1	~110	~△34.3	~1,925.77
通期	3,500	△6.6	170	△32.0	170	△37.3	120	△53.0	2,100.84
	~3,600	~△3.9	~200	~△20.0	~200	~△26.2	~150	~△41.3	~2,626.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の有無になります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期1Q	57,120 株	24年9月期	57,120 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年9月期1Q	— 株	24年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期1Q	57,120 株	24年9月期1Q	57,100 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては[添付資料]P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、海外経済の減速や円高により、輸出関連企業の収益や雇用への悪影響が懸念されていたものの、足元では円相場の水準訂正により景気回復への期待感が高まりつつあります。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、海外経済の減速や円高の影響が続いているものの、円相場の水準訂正により輸出関連企業を中心に一定の回復の兆しがありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、前期より引き続き、各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、当社では、需要の高まってきている業界に対応できる技術者の採用および育成に注力し、付加価値の高い人材サービスを提供することで顧客企業のニーズに対応してまいりました。また、前期から引き続き、コスト管理を徹底すると共に、営業部門の強化、効率化による稼働人員の増加および稼働率の改善に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高905百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益86百万円（前年同期比3.4%減）、経常利益106百万円（前年同期比15.6%増）、四半期純利益99百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は2,556百万円（前事業年度末は2,433百万円）となり123百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,018百万円（前事業年度末は1,920百万円）となり98百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は538百万円（前事業年度末は513百万円）となり25百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債の残高は949百万円（前事業年度末は957百万円）となり7百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は前事業年度末から横ばいの569百万円となりました。

主な要因は、未払金が増加したものの、賞与引当金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は380百万円（前事業年度末は388百万円）となり7百万円減少いたしました。

主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,606百万円（前事業年度末は1,475百万円）となり130百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の業績につきましては、平成25年1月31日付「平成25年9月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用しているものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,513	1,252,913
受取手形及び売掛金	468,496	450,808
預け金	125,302	221,828
その他	173,026	92,938
貸倒引当金	△141	△45
流動資産合計	1,920,198	2,018,444
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,998	3,829
工具、器具及び備品（純額）	6,765	6,115
有形固定資産合計	10,764	9,945
無形固定資産		
投資その他の資産	27,195	24,089
投資有価証券	443,853	472,451
敷金及び保証金	30,720	30,354
その他	614	1,350
投資その他の資産合計	475,188	504,155
固定資産合計	513,148	538,190
資産合計	2,433,347	2,556,634
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	57,924	95,115
未払費用	236,568	246,246
未払法人税等	17,484	7,760
未払消費税等	26,328	41,177
賞与引当金	114,993	62,944
その他	75,952	75,927
流動負債合計	569,251	569,172
固定負債		
長期借入金	130,000	120,000
退職給付引当金	254,959	257,764
その他	3,267	3,016
固定負債合計	388,226	380,780
負債合計	957,478	949,953

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	297,027	396,607
株主資本合計	1,513,284	1,612,864
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40,557	△9,325
評価・換算差額等合計	△40,557	△9,325
新株予約権	3,142	3,142
純資産合計	1,475,869	1,606,681
負債純資産合計	2,433,347	2,556,634

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	985,168	905,954
売上原価	727,878	678,976
売上総利益	257,290	226,977
販売費及び一般管理費	167,557	140,300
営業利益	89,732	86,676
営業外収益		
受取利息	1,148	7
受取配当金	—	2,803
投資有価証券売却益	—	14,954
貸倒引当金戻入額	3,931	96
助成金収入	2,133	550
その他	735	2,538
営業外収益合計	7,947	20,950
営業外費用		
支払利息	153	755
支払手数料	3,863	—
その他	1,686	530
営業外費用合計	5,703	1,286
経常利益	91,977	106,340
税引前四半期純利益	91,977	106,340
法人税、住民税及び事業税	2,315	6,760
法人税等合計	2,315	6,760
四半期純利益	89,661	99,579

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	862,737	122,431	—	985,168
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	862,737	122,431	—	985,168
セグメント利益	80,563	9,169	—	89,732

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	765,914	140,039	—	905,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	765,914	140,039	—	905,954
セグメント利益	69,493	17,183	—	86,676

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。